

次なるステージへ みんながつながる飛躍予算

2020年の新たな時代の幕開けを迎えた本区 では、本年4月から今後の江東区の10年間のまち づくりの羅針盤となる、新たな「江東区長期計画」 がスタートします。

令和2年度は、新たな長期計画の開始となる初年 度であり、区一丸となり災害に強いまちづくりや 保育待機児童の解消、子育て・教育環境の整備、 高齢者・障害者支援、観光振興、環境対策など、 区政各般にわたる課題に積極的に取り組んでいく 必要があります。



江東区長 山﨑孝明

そのため、新たな長期計画の始まりと今夏開催さ れる東京2020大会の成功に向けて、皆でつながりを持って本区を次なるス テージに飛躍させるため、「次なるステージへ みんながつながる飛躍予算」 をキャッチフレーズに予算編成を行いました。

令和2年度予算では、激甚化する自然災害への対策の強化や社会経済情勢の変 化に伴う本区の行政需要に対応するための施策を確実に盛り込み、一般会計の当 初予算規模は、2,132億9,800万円、前年度比3.8%の増で、一般会 計と3つの特別会計を合わせた総予算規模は、3,102億3,600万円、前 年度比2.7%の増となり、過去最大の予算規模となりました。

開催まであと半年をきった東京2020大会では、最も多くの競技と競技会場 を有する本区に、国内外から数多くの大会関係者や観客が訪れます。大会期間中 は、区独自ボランティアの「江東サポーターズ」とおもてなしを区内全域で展開 するとともに、大会後はレガシーとして気軽にスポーツに親しめる、「スポーツ と人情が熱いまち 江東区」を目指します。

昨年の江東区政世論調査では、江東区に「ずっと住みたい(住むつもり)」、 「当分は住みたい」と答えた方の割合は90%と高い定住意向でありました。 今後もこどもから高齢者までが、安全で安心していきいきと暮らせる地域社会 の実現のため、「意欲・スピード・思いやり」を持って区政運営に取り組むと ともに、長期計画における重要課題である「地下鉄8号線の延伸」の実現に向 け、引き続き、区民・区議会・行政が一丸となって取り組んでまいります。

目 次

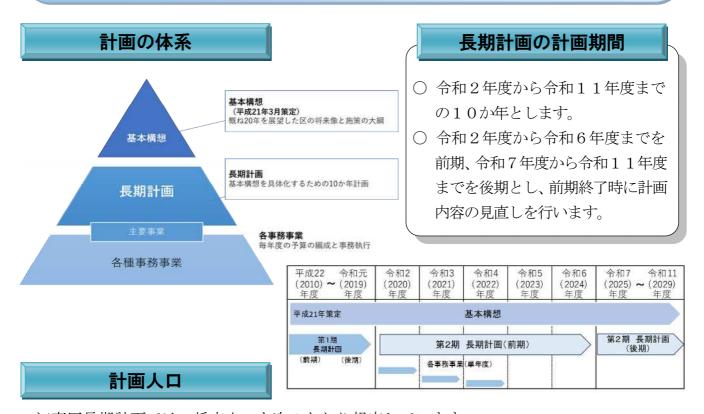
Ι	江東区新县	長期計画を策定	
	計画概要		••1
	重要課題	・重点プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • 3
Π	令和2年原	度予算案について	
	1 予算編成	或の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・·・・・・・・・・・·	• • 5
	2 予算規模	奠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • 6
	3 主な事業	業の件数と金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • 6
Ш	重点事業	(15項目)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•• 7
IV	ナか車 <i>業(</i>	の詳細(32項目) ※ ◎印は重点事業(15項目)	
14	上なず木り	※ ★印はオリンピック・パラリンピック関連(8項目)	
	1 防災・a	まちづくり(6項目)	
0	1 - 1	防災備蓄用ラジオを全戸配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1 3
0	1 - 2	全学校の体育館に非常用発電設備を設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 14
0	1 - 3	「水害啓発冊子」と「ハザードマップ」を全戸配布・・・・・・	• 1 5
	1 - 4	新しい地震体験車を導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1 6
	1 - 5	北砂三・四・五丁目地区に児童遊園等を整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1 7
	1 - 6	地下鉄8号線(豊洲〜住吉間)の早期実現へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 18
	0 マムイ	数本 / n 伍 口 \	
		・教育(7項目)	0.1
0	2-1	子ども家庭支援センターの整備により子育て支援体制を強化・・・	
0	2 - 2	認可保育所の整備を推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
\bigcirc	2 - 3 2 - 4	小学校全普通教室に電子黒板を整備、タブレット端末を倍増・・・	
<!--</td--><td></td><td>ブリッジスクールを新たに1か所開設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td></td>		ブリッジスクールを新たに1か所開設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
0	2 - 6	SNSによる教育相談を毎週1回に拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2 - 7	第二大島中学校を改築・第二亀戸小学校を増築・・・・・・・・・	
	2 — 7	另一八局中子仪を以梁・另一电户小子仪を垍梁・・・・・・・・·	• 2 (
	3 健康・ネ	福祉(7項目)	
() T	★ 3 — 1	誰もが身近にスポーツを楽しめる環境の創出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 2 9
	3 - 2	潮見庭球場を車いすテニス対応施設に改修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3 0
0	3 - 3	区独自の江東区家庭料理検定を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3 1

\bigcirc	3	-4	特別養護老人ホ	ームの整備・改修	、認知	定高的	着ク	ジルー	ープ	ホー	ーム	の軸	修備	j •	•	3	2
	3	- 5	認知症サポーク	ター ステップフ	アップ研	肝修の	実施	<u>ī</u> •		•	•		•	•	•	3	3
	3	-6	資格取得支援	や外国人介護従事	事者向に	ナ日本	語教	室	を実	施	•		•	•	•	3	4
	3	- 7	手話言語の普及	及・障害者との意	意思疎通	重の仮	2進・	•	• •	•	•	• •	•	•	•	3	5
4	Ļ	緑▪環	滰(3項目)														
0	4	- 1	魅力的でうる	おいのあるみどり)のネッ	ノトワ	ーク	を	形成		•		•	•	•	3	7
*	r 4	-2	「こうとう☆ネ	花いっぱい運動」	を実施	<u>i</u> • •		•		•	•		•	•	•	3	8
*	r 4	- 3	東京2020	大会期間中にごみ	,収集車	亘両を	∵増車	<u>í</u> •	• •	•	•	• •	•	•	•	3	9
5	5	産業・	生活(9項目)														
⊘ ★	5	- 1	大会本番に向い	ナ「江東サポータ	マーズ」	の活	動を	バ	ック	ア	ツラ	プ・	•	•	•	4	1
⊘ ★	5	-2	オリンピック・	パラリンピック雪	聖火リレ	/一で	盛り	上げ	゚゙イ゙゙゙゙゙゙゙゚゙	ベン	ト	を実	施	•	•	4	2
*	5	-3	「KOTOス	ポーツキャラバン	/ to	東京	(20	2	0]	Ø);	総治	夬算	<u>.</u>	•	•	4	3
⊘ ★	5	-4	豊洲に(仮称)	江東区観光案内	内所を認	建置•		•		•	•		•	•	•	4	4
*	5	- 5	オリンピック	・パラリンピック	教育ト	バキュ	-メン	タ	IJ —	D	V I	つを	作	成	•	4	5
0	5	- 6	地域の課題を[区と協働で解決・				•		•	•		•	•	•	4	6
	5	-7	「奥の細道サ	ミット in 江東	〔〕 開催	崔••		•		•	•		•	•	•	4	7
	5	- 8	税金・保険料の	の支払いに「LI	NE I	Раз	ァ」を	/導	入•	•	•		•	•	•	4	8
	5	- 9	ICTを活用	した業務の効率化	比と区員	ピサー	ービフ	く の	向上	•	•		•	•	•	4	9
V		料編															
1				• • • • • • •	• • •	• •	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	5	1
2		各項目															
				規模)の推移・・													
				と特別区交付金)													
	2	- 3	歳出の推移・・	• • • • • • •	• • •	• •	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	5	3
	2	-4	漬立基金と特別[区債の現在高の推													
3	3	歳出の	印制・・・・・	• • • • • • •	• • •	• •	• •	•	• •	•	•		•	•	•	5	5
4	-	区民一	人あたりの令和	2 年度歳出予算額	頁•••			•		•	•		•	•	•	5	6

I 江東区新長期計画を策定

(令和2年度~11年度)

- 「江東区長期計画」は、江東区のまちづくりと区政運営の具体的指針となるものであり、 区の基本構想に掲げる将来像「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」を実現 するため、具体的方向性を明確にするものです。
- 平成21年に策定した20年構想である基本構想の実現に向け、後半の10年について、 前長期計画の10年に続く「次なるステージ」ととらえ策定します。



江東区長期計画では、将来人口を次のとおり想定しています。

「想定した将来人口)

	いたした刊木八日」		(年位・1八/	
		現 況	令和6年	令和11年
(人 口 うち外国人住民数)	5 1 8 (2 9)	5 4 7 (3 4)	5 7 0 (3 8)
	年少人口 (0-14歳)	6 7	7 1	7 3
内訳	生産年齢人口 (15-64歳)	3 4 0	3 6 2	3 8 1
	高齢者人口 (65歳以上)	1 1 2	1 1 4	1 1 6

(単位·千人)

(注) 現況:住民基本台帳人口(平成31年1月1日現在) 令和6年および令和11年:推計値(1月1日現在)

※人口には、外国人住民数を含む

計画推進の視点

行政だけが地域課題解決の主体ではないことや、より大きな視点から地域課題をとらえる ことの重要性から、3つの視点を踏まえて計画を推進

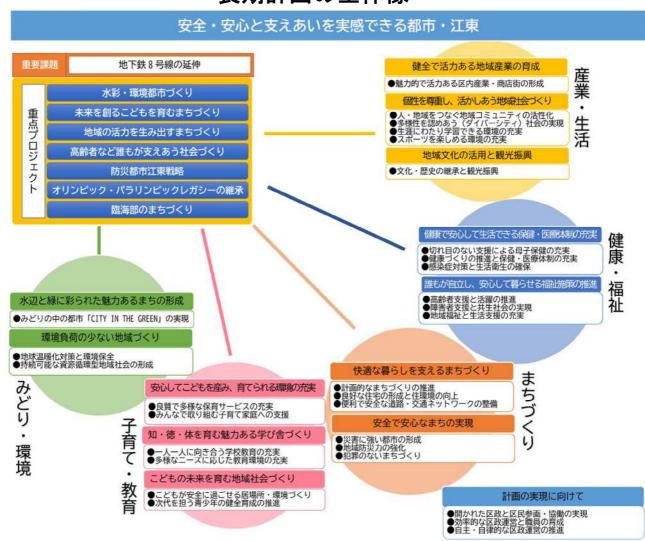
1 協働の視点に立った課題解決

区民、市民団体、事業者等と区がともに地域課題の解決に取り組む「協働」を積極的 に推進

- 2 SDGs (持続可能な開発目標)を踏まえた取り組み
 - SDGsを念頭にあらゆる施策を推進
- 3 ICT利活用の推進

AIやRPAなどICTの利活用により、区民にとって便利で質の高い行政サービスの提供と効率的な行政運営を推進

長期計画の全体像



重要課題・重点プロジェクト

重要課題

江東区のまちづくりに大きな影響を及ぼす政策的な課題として、重要課題を設定

地下鉄8号線の延伸

区の南北を結ぶ交通網の利便性を高め、江東区の新たなまちづくりを進めるために、「地下鉄8号線(有楽町線)の延伸」の早期実現を目指します。

7つの重点プロジェクト

長期計画の達成に向けて、重点的に取り組むべき課題や、 各分野を超えて重層的に取り組む必要がある課題について、7つの「重点プロジェクト」を掲げ推進

各プロジェクトの方向性と主な取り組み

重点1 水彩・環境都市づくり

区の特色である水辺や緑を活かすとともに、環境施策を推進することで、持続可能な社会の構築を目指します。

- 人でにぎわう魅力的な公園・水辺の整備
- 脱炭素化に向けた、幅広い世代への環境教育・啓発
- 持続可能な資源循環型地域社会の形成に向けた、ごみの発生抑制

重点2 未来を創るこどもを育むまちづくり

妊娠・出産期から就学後における、子育てや教育などの多様なニーズに切れ目なく対応することで、こどもたちが健やかに成長できる社会の構築を目指します。

- 待機児童の解消と保育の質の向上
- きめ細かな児童相談支援体制の構築に向けた、子ども家庭支援センターの整備・機能強化
- 児童虐待への一元的・総合的な対応を図るため、児童相談所を整備
- 小・中学校の学習内容や I C T 環境など教育環境の充実
- いじめや不登校、ひきこもり等への支援体制の充実と居場所づくり

重点3 地域の活力を生み出すまちづくり

にぎわいと活気にあふれた地域コミュニティ、地域経済の発展を目指します。

- 町会・自治会などの多様な地域活動への参加と、世代・地域を超えた住民相互の交流の促進
- 区内中小企業の経営力・競争力を強化
- 商店街や個店の魅力を積極的に発信
- 外国人居住者への相談支援体制の充実や地域との交流促進など、多文化共生社会の推進

重点4 高齢者など誰もが支えあう社会づくり

人・地域がつながり、支えあいながら暮らすことができる環境を整備し、地域共生社会の実現 を目指します。

- 人生 100 年時代における、高齢者自身の知識・経験を活かし、活躍できる環境整備
- 特別養護老人ホームなどの高齢者施設の整備
- 障害者入所施設・障害者グループホームなどの障害者施設の整備
- 生活上の困難を抱える方の包括的な支援体制の構築
- ユニバーサルデザインのまちづくり

重点 5 防災都市江東戦略

首都直下地震や激甚化する風水害など、各種災害へのあらゆる事態を想定した防災体制の整備を図り、防災都市江東の実現を目指します。

- 拠点避難所を核とした災害時の体制強化と、災害情報の伝達手段の強化
- 大規模水害時も含めた関係機関との連携強化
- 防災リーダーの養成など、区民の防災・防犯意識と対応力の向上
- 〇 区道の無電柱化
- 木造住宅密集地域の不燃化

重点6 オリンピック・パラリンピックレガシーの継承

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成果を江東区全体に波及させ、スポーツ等を通じて、誰もが健康で生き生きと暮らせる社会を目指します。

- 国内外に本区の魅力を積極的・戦略的に発信
- スポーツ実施率の向上による健康寿命の延伸
- 江東区独自ボランティアの活動を地域の活性化へ継承
- スリンピック・パラリンピック教育の推進と、こどもたちの健康・体力増進

重点7 臨海部のまちづくり

広大な水辺・緑やスポーツ・観光等を通じ、ベイエリアの魅力を最大限に活かしたまちづくり を推進します。

- 東京都との連携によるスポーツ、観光・MICE等によるにぎわいの創出
- 地下鉄8号線延伸や水運の活用などによるアクセス性の向上
- 豊洲市場のPRとにぎわい創出
- 中央防波堤埋立地の将来のまちづくりに向けた取り組みの推進
- 開発動向や区民ニーズ等を踏まえた公共施設整備の検討

Ⅱ 令和2年度予算案について

次なるステージへ みんながつながる飛躍予算

新長期計画初年度という新しい時代を迎えるにあたり、災害対策等様々な施策を積極的に打ち出すほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、区一丸となって取組む等、みんなでつながりを持って江東区を次なるステージへ飛躍させていく予算

1 予算編成の基本的な考え方

く目指すもの>

- (1) 令和2年度は、東京2020大会を区民と共に成功に導き、その先のレガシーを次の世代に構築・継承させていくとともに、今後10年間の道筋を描く新たな長期計画の初年度となる本区にとっては新たな時代を迎える非常に重要な一年となります。そのため、新長期計画で示される本区の将来の「目指すべき姿」を実現するために積極的な施策展開を図っていきます。
- (2) 社会情勢の変化を的確に捉え、高度化・複雑化する行政課題に対し、スピード感をもって 対応していくためには、優先順位を見極めた事業の再構築を図っていく必要があります。 そのため、事業の有効性、経費の後年度負担について十分な検証を行い、事業の見直しを 積極的に行うことで、新たな施策展開の財源を確保していきます。
- (3) 景気動向や税制改正等の影響を受けやすい歳入環境にあっても、多様化するニーズに的確に応え、安定的な区政運営を行うため、新行財政改革計画を着実に推進し、経費節減の徹底のほか、新たな歳入確保策やICTを活用した業務の効率化を検討・推進し、持続可能で強固な財政基盤を構築していきます。

2 予 算 規 模

区分	令和2年度	令和元年度	増 減 額	増減率 (%)
一般会計	2,132億9,800万円	2,054億 700万円	78 億 9, 100 万円	3.8
国民健康 保険会計	496 億 3,900 万円	512 億 200 万円	△15 億 6, 300 万円	△3.1
介護保険 会 計	367 億 7,600 万円	355 億 1,000 万円	12 億 6,600 万円	3. 6
後期高齢者 医療会計	105億2,300万円	100億5,200万円	4億7,100万円	4. 7
計	3,102億3,600万円	3,021億7,100万円	80 億 6, 500 万円	2. 7

3 主な事業の件数と金額

事業	内 容	件数	金額
長期計画に定める	施設 (ハード事業)	48件	171億1,600万円
主要事業	非施設 (ソフト事業)	26件	71億9,300万円
新たな取組み(主要事業を含む)		5 4 件	125億 500万円
事業の拡充(主要	要事業を含む)	30件	26億5,100万円

Ⅲ 重点事業(15項目)

※ ★印はオリンピック・パラリンピック関連

1 防	災・まちづくり(3項目)
1 - 1	防災備蓄用ラジオを全戸配布・・・・・・・・・・・・ 13
1 - 2	全学校の体育館に非常用発電設備を設置・・・・・・・ 14
1 - 3	「水害啓発冊子」と「ハザードマップ」を全戸配布・・・・・・ 15
2 子	育て・教育(4項目)
2 - 1	子ども家庭支援センターの整備により子育て支援体制を強化・・ 21
2 - 2	認可保育所の整備を推進 · · · · · · · · · · · · · · · · 22
2 - 4	小学校全普通教室に電子黒板を整備、タブレット端末を倍増・・ 24
2 - 5	ブリッジスクールを新たに1か所開設・・・・・・・・・ 25
3 健	康•福祉(3項目)
★ 3 - 1	誰もが身近にスポーツを楽しめる環境の創出・・・・・・・ 29
3 - 3	区独自の江東区家庭料理検定を実施・・・・・・・・ 31
3 - 4	特別養護老人ホームの整備・改修、 認知症高齢者グループホームの整備

Λ		
4	於來『艾泉』見 ((1)4月日)

4-1 魅力的でうるおいのあるみどりのネットワークを形成・・・・・・37

5 産業・生活(4項目)

★ 5 - 1	大会本番に向け「江東サポーターズ」の活動をバックアップ・・・41
★ 5 - 2	オリンピック・パラリンピック聖火リレーで盛り上げイベントを実施・・42
★ 5 - 4	豊洲に(仮称)江東区観光案内所を設置・・・・・・・・・44
5 - 6	地域の課題を区と協働で解決・・・・・・・・・・・46

[再掲]

★オリンピック・パラリンピック関連 (4項目)

3 - 1	誰もが身近にスポーツを楽しめる環境の創出・・・・・・・29
5 - 1	大会本番に向け「江東サポーターズ」の活動をバックアップ・・・41
5 - 2	オリンピック・パラリンピック聖火リレーで盛り上げイベントを実施・・42
5 - 4	豊洲に(仮称)江東区観光案内所を設置・・・・・・・・44

IV 主な事業の詳細

1-1 危機管理啓発事業

災害時の情報伝達及び受信態勢の強化!

防災備蓄用ラジオを全戸配布

地域における災害・避難情報を収集と迅速な安全行動へ

新たな取組み

事業経費

15億円

◆事業内容

- 令和元年台風第19号での対応を踏まえて、区民への情報伝達手段の重層化や防災協定 (※)を締結しているコミュニティFM放送(88.5MHz)の活用態勢の強化、区民の防災意識 の啓発を図るため、防災備蓄用ラジオの全戸配布を行います。
- 大規模停電時の対策として、ラジオは乾電池のみならず、手回し充電で利用が可能なものとします。
- ※ 災害時等における放送要請に関する協定: 平成16年8月に、区・東京ベイネットワーク株式会社(CATV委託会社)・レインボータウンエフエム 放送株式会社(コミュニティFM委託会社)の3者による協定。災害時等には災害情報の周知のための放送を要請する。

◆目的

- 災害発生時、適切な避難行動を行うためには、緊急情報はもとより、地域個別の災害情報 を迅速に入手する必要があるため、身近な情報収集ツールとしてのラジオの有用性を改め て周知します。
- 平時より区政情報や防災情報を発信しているコミュニティFM放送の利用を周知することで、 災害・緊急時の有効活用はもとより、平時から防災意識の向上に役立てます。

◆配布対象

令和2年3月1日現在、本区に住民登録している世帯(約27万世帯)

◆防災備蓄用ラジオ配布の概要

機能	・乾電池利用・手回し充電・AM/FMラジオ など
配布方法	地域ごとに順次配布
配布時期	8月頃~年度内



長期計画の該当項目:施策26 地域防災力の強化

担当課:防災課 電話:3647-9584

窓 口:防災センター4階1番 内線:6211

災害時における拠点避難所の防災機能を強化

23区初!全学校の体育館に非常用発電設備を設置

停電時でも安心して避難できる施設環境を確保します

DE.	たな	1100	€ /	
F 71 17		1 : N/4	711	ark.
TALA TA			of the same	· /

古光幻典	2年度	総事業費
事業経費	1億508万円	3億5,348万円

◆事業内容

- 災害発生時の停電に対応するため、区立小・中学校、義務教育学校及び仮校舎全校の体育館に外部電源の接続盤を設置します。
- ○外部電源接続盤の設置工事後に、可搬式発電機を順次導入します。

◆目的

- 照明の一部点灯や携帯電話等の充電などを可能にして、災害発生時の拠点避難所となる 学校体育館の防災機能の強化を図ります。
- 可搬式発電機のほか、電気自動車などの接続も可能となるため、さまざまな方法を複合的 に検討し、拠点避難所の防災機能をより一層強化していきます。

◆事業概要

発電機導入方法	リース契約 ※メンテナンスも含む
発電機導入校	・小学校:全45校・中学校:全23校・義務教育学校:全1校・仮校舎:全2校
スケジュール	 接続盤設置工事: 令和2年度 小学校(城東地区)、仮校舎2校 令和3年度 小学校(深川地区)、義務教育学校1校 令和4年度 全中学校 ・発電機導入: 令和3年度~5年度 ※接続盤設置工事完了後に順次導入
他区の状況	23区初



可搬式発電機(例)



拠点避難所の様子(台風第19号時)

長期計画の該当項目:施策26 地域防災力の強化

担当課:防災課 電話:3647-9587

器 口:防災センター4階1番 内線:6216

水防対策事業 3 危機管理啓発事業

水害が発生する前に避難地区・避難方法を確認

「水害啓発冊子」と「ハザードマップ」を全戸配布

防災マップアプリをリニューアル! 防災・気象情報をプッシュ通知

事業の拡充

事業経費

水防対策事業(河川公園課) 2,3

2.303万円

危機管理啓発事業 (防災課)

372万円

◆事業内容

水害発生時の避難情報や情報伝達経路、必要な情報の集め方などをまとめた「水害啓発冊子」を、避難地区や洪水、高潮発生時の浸水深さ、浸水継続時間を示した「洪水・高潮ハザードマップ(※)」とともに全戸に配布します。

※ 水防法の改正により、洪水、高潮による想定し得る最大規模の浸水深さ、浸水継続時間が国、都から公表され、令和元年度に洪水ハザードマップを改定し、高潮ハザードマップを新規作成した。

◆目的·効果

- 全戸配布することで、より多くの区民の水害に対する防災 意識を高めます。
- 江東区の地形や、浸水深さ、浸水継続時間などを事前に 周知することより、水害が発生する前に事前の対策を行う ことができるようになり、人的被害を減らすことができます。



水害啓発冊子(イメージ)

◆特色

- 水害啓発冊子は、水害発生時に必要な情報だけではな く、江東区の地形的歴史や洪水、高潮の発生メカニズム、 避難の留意点などもわかりやすく掲載しています。
- ○ハザードマップは、色覚障害者の方にもわかりやすい文字や色を使用しています。



洪水・高潮ハザードマップ

◆防災マップアプリのリニューアル(防災課)

内容 スマホ画面上にお知らせを表示するプッシュ通知機能を利用し、気象情報 や発災時の防災関連情報を受け取れるように改修

特色

- ○「こうとう安全安心メール(※)」にて発信している「防災関連情報」と同様の 内容を通知 ※ 防犯情報や防災情報をメールで受け取るサービス
- 通知される内容は、アプリで設定した多言語に対応 (日本語·英語・中国語簡体字・韓国語)

開始

令和2年7月配信予定

実績

○ 防災マップアプリは平成25年度から配信を開始し、平成30年度には視認性の高いマップの搭載や発災時を想定したオフライン環境下でも利用できる仕様に改修

○ 現在、延べ約32,000人がダウンロードしており、特に昨年の台風第19 号前後には約5,000人がダウンロード



防災マップアプリ 画面イメージ

長期計画の該当項目:施策25 災害に強い都市の形成・施策26 地域防災力の強化

担当課:河川公園課・防災課 電話: [河川] 3647-2538 【防災] 3647-9584 窓 口: 防災センター6階2番・4階1番 内線: 【河川] 6461 【防災】6211

1-4 危機管理啓発事業

東日本大震災の再現プログラムを搭載

新しい地震体験車を導入

過去の大地震を体験して万全の備えを!

事業の拡充

事業経費

5.356万円

◆事業内容

東日本大震災など近年発生した地震の揺れを再現・体験できるプログラムを搭載した新しい 地震体験車を導入します。

◆目的·背景

- ○地震防災対策の啓発・訓練活動の一環として、昭和58年から地震の揺れを疑似体験できる 地震体験車を運行しています。
- ○現在の地震体験車が4代目となり、平成18年から現在まで約13年間運行しています。
- ○現行車の運行期間中に発生した東日本大震災を含む、近年発生した地震を再現・体験することで、より一層の地域防災力の強化を図ります。

◆特色·効果

- 東日本大震災を含む近年発生した地震の揺れを体験することにより、発生が想定される首都 直下地震や南海トラフ地震などに備えます。
- ○地震の揺れを再現する性能が向上し、CG映像と合わせてよりリアルな地震を再現します。
- 車両本体のエンジンを切った状態で地震体験できるため、環境負荷や騒音の軽減が見込まれます。
- ○車両本体は、燃費が良く、環境にやさしいとされるハイブリッド車を採用します。

◆運行開始予定

令和3年1月頃





RAR

地元消防署

◆実績

地元消防署と連携して、 年間およそ90回運行して おり、多くの方が体験して います。

※ 防災訓練をはじめ、区民 まつり等で運行

	運行回数	動員人数
平成30年度	92回	13,786人
平成29年度	95回	22,364人
平成28年度	89回	16,443人



長期計画の該当項目:施策26 地域防災力の強化

担当課:防災課 電話:3647-9584

窓 口:防災センター4階 内線:6211

>1-5 不燃化特区の基盤整備

燃えない・燃え広がらないまちづくりを推進

北砂三・四・五丁目地区に児童遊園等を整備

地区内に空地を取得し広場・公園として整備していきます

新たな取組み

事業経費

3.200万円

◆事業内容

「北砂三・四・五丁目地区不燃化小規模空地事業実施方針」に基づき、地区内に空地を取得 し、児童遊園等として整備します(令和2年度より順次整備・開園予定)

◆背景·目的

- 北砂三・四・五丁目地区は木造住宅が密集しており、延焼遮断帯とし ての空地や、災害時の一時集合場所の確保などが求められています。
- 取得した空地を児童遊園等として整備することで、地区内の防災性の 向上と住環境の改善を目指します。

【防災機能(例)】



かまどベンチ

◆特色·効果

- 災害時は避難・救護活動空間等として活用できます。
- 平常時は憩いの場や商店街の活性化に資する広場など、地区内の特 性に応じた運用・管理方法を、地域と連携しながら検討していきます。
- 北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会等、地元住民の意見を聞き ながら、必要に応じて防災機能を整備します。



マンホールトイレ

小名木川防災公園 (令和2年2月開園)

◆目標

令和11年度までに100m²程度の児童遊園等を20か所程度整備します。

◆対象地区

北砂三丁目の一部・四丁目・五丁目の一部 (不燃 化特区) ※右図参照

◆実績(令和2年2月開園)

窓 口:5階22番

場所 小名木川防災公園(北砂五丁目21番5号) 規模 敷地面積:約1,520m² マンホールトイレ、 機能 防火水槽、 かまどベンチ等



長期計画の該当項目:施策25 災害に強い都市の形成

担当課:地域整備課 電話:3647-9491

内線:2983

地下鉄8·11号線建設促進事業 地下鉄8号線建設基金積立金

東京東部に速達性に優れた南北交通軸を形成

地下鉄8号線(豊洲~住吉間)の早期実現へ

3年連続全国ワーストの東西線混雑率を緩和

事業の拡充

事業経費

10億95万円

北千住

東武伊勢崎線

押上

錦糸町

住吉

ST3

: 東西線

東陽町

新木場

半蔵門線

豊洲 ST1

豊洲市場

有楽町線

都営新宿線

◆整備計画概要

整備区間 有楽町線 豊洲駅~半蔵門線 住吉駅 建設延長 約4.8km(路線延長は約5.2km) 概算建設費 約1,420億円(税抜、平成28年度価格)

◆国の検討経過

交通政策審議会第198号答申(平成28年4月)

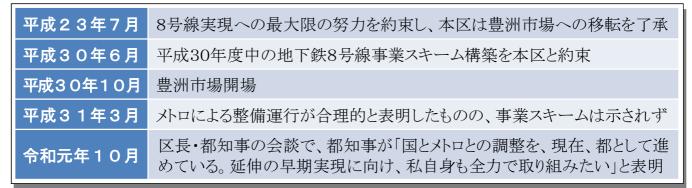
【位置付け】国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークの プロジェクト

【課題】事業計画の検討は進んでおり、費用負担のあり 方や事業主体の選定等について合意形成を進めるべき

東京圏における国際競争力強化に資する鉄道ネット ワークに関する検討会(平成30年度)

- 全国ワーストの東京メトロ東西線の車内混雑率を緩和
- 整備による社会貢献度が高く、収支採算性も良好

◆東京都と本区の調整状況



◆本区の取り組み

- 平成22年度より、地下鉄8号線建設基金の積立てを開始(令和2年度末残高:80億円)
- 平成28年度に、区単独調査を実施し、地下鉄8号線整備計画を作成
- 引き続き、地下鉄8号線(豊洲~住吉間)の早期実現に向けた取組みを進めます。

長期計画の該当項目:施策24 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備

扫 当課: 地下鉄 8 号線事業推進担当 雷話:3647-8678 口:防災センター2階18番

内線:6481

2子育て・教育

2 子育で・教育

子ども家庭支援センターの整備 子ども家庭支援センター管理運営事業

地域の見守り支援と虐待予防・対応を推進

子ども家庭支援センターの整備により子育て支援体制を強化

有明・亀戸・住吉地区に整備し、区全体で8施設に

新たな取組み

	児童向	け複合施設整備事業
事業経費	令和2年度	8億7,819万円
	総事業費	3 2 億 7, 3 0 0 万円
※ (仮称)亀戸子ども家庭支援センターの整備費は第二亀戸小学校増築事業費に含まれます。		

事業経費|子ども家庭支援センター管理運営事業| 1億6.449万円

◆事業内容

- 令和2年4月に新たに有明子ども家庭支援センター(※1)を開設します。また令和4年度の開 設を目指し、亀戸地区に子ども家庭支援センター、住吉地区に子ども家庭支援センターとこ どもとしょかんを併設した児童向け複合施設の整備を進めます。
- 令和2年4月から新たに南砂子ども家庭支援センターに心理士1名を配置し、こども家庭支 援課と合わせて「江東区子ども家庭総合支援拠点(※2)」と位置づけます。
- ※1 子ども家庭支援センター:保護者同士の交流や乳幼児がのびのびと遊ぶことを目的とした子育てひろば、子育て相談、育児に関する情報 や学習機会の提供、一時保育事業等のサービスの提供により、孤立した子育ての解消に取り組む子育て支援の拠点施設
- ※2 子ども家庭総合支援拠点: こどもとその家庭及び妊産婦等を対象に、相談からソーシャルワーク業務まで広く支援機能を担う拠点

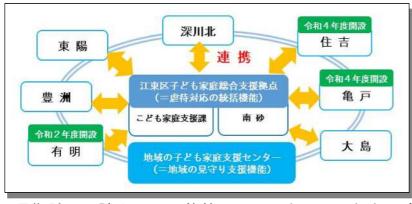
◆目的

- 令和2年4月に開設する有明、令和4年度に開設する亀戸・住吉を合わせた、区内全8か所 の子ども家庭支援センターで地域の見守り支援体制の強化を図ります。
- ○「江東区子ども家庭総合支援拠点」を設置することで、幅広くこどもやその家庭に対する支援 機能を強化します。

◆効果

子ども家庭支援センターの新設や、「江東区子ども家庭総合支援拠点」と各地域の子ども家 庭支援センターとの連携により、区全体の子育て支援と虐待予防・対応に必要な体制が強化さ れます。

◆子育て支援体制イメージ





センターで遊ぶ親子の様子



整備中の有明子ども家庭 支援センター施設内部

長期計画の該当項目:施策5 みんなで取り組む子育て家庭への支援

担当課:こども家庭支援課 雷話:3647-9230(4408)

内線:3351 • 2783 口: 3階15番

安心してこどもを産み育てられるまちを目指して

認可保育所の整備を推進

待機児童解消に向け、保育所の整備を促進

新たな取組み

事業経費

21億1.969万円

◆事業内容

- 保育需要へ迅速に対処するため、民設民営による保育施設の整備などにより、約600人の 認可保育所定員の増を図ります。
- 公有地を積極的に活用し、認可保育所を整備します。

開設時期	所在地	定員数	備 考
令和3年4月	計画中	計 約600人	令和3年4月の開設に向け、認可保育所を整備 ※開設場所、施設数(定員)については、 保育需要の状況等に応じて決定

◆過去5年の待機児童数の推移(参考)

(各4月1日時点)

年度	2 7	28	2 9	3 0	元
人数	167	277	322	76	51
(人) 400			322		
300		A			05.1
200		277			25人 咸少]
100	167				
0			7	6	51
	H27	H28	H29	H30	R1 (年度)



太陽の子 森下三丁目保育園 完成イメージ



整備する保育所 室内(イメージ)

◆令和元年度整備実績(令和2年4月開設予定)

施設	定員数	備考
太陽の子 森下三丁目保育園	80人	都有地を活用した認可保育所整備
さくらさくみらい豊洲	69人	民間活力を活用した認可保育所整備

新規開設する18施設(上記を含む)のほか、既存施設の定員変更等を含め、1,300人(※)を超える認可保育所定員の増を図りました。

※有明二丁目に開園する幼保連携型認定こども園の保育認定児童の定員100人を含む

長期計画の該当項目:施策4 良質で多様な保育サービスの充実

担当課:保育計画課 電話:3647-9638

窓 口:5階8番 内線:2791

保育所と入所希望者を短時間でマッチング

保育所利用調整にかかるAIシステムの活用

結果発表の早期化を実現します

新たな取組み

事業経費

1.758万円

◆事業内容

「保育所入所AI選考システム」によるマッチングプログラムを活用して、区の利用調整基準に基づき、それぞれの保育所における入所者を短時間で決定し、現在よりも早い時期に結果をお知らせします。

◆目的

- AIの活用により、利用調整(選考)事務にかかる時間を短縮し、保護者への結果発表時期の早期化を図ります。
- 結果発表の早期化により、入所ができなかった場合の次の保育施設探しや、内定した場合 の入所準備などを速やかに行うことができます。

◆効果

<4月の認可保育所入所(一次募集)スケジュール>

10月	11月	12月	1月	2月
導入前	申込受付	書類点検	利用調整	発表
導入後	申込受付	書類点検	利用調整 発表 ◆	早期化

- ○利用調整にかかる時間の短縮(※)
- ⇒ 1週間~10日程度 (令和4年4月入所選考から)
- 結果発表時期の早期化(前倒し)
- \Rightarrow

◆導入スケジュール

時 期	内 容
令和2年4月~12月	契約締結•検証作業
令和3年1月	令和3年4月入所選考から導入(従来の利用調整も並行実施)
令和4年1月	令和4年4月入所選考はAIのみで実施(結果発表時期の早期化)

◆他区の状況

港区、荒川区、板橋区で実施

口: 3階12番





長期計画の該当項目:施策4 良質で多様な保育サービスの充実

担当課:保育課 電話:3647-4934

内線:2770

[※] AIの導入により利用調整自体は数分程で完了するものの、職員による確認作業等が新たに発生するため、全体では1週間程度の短縮を見込む。なお、導入初年度は切り替えに伴うトラブル等に備え、従来の職員による利用調整も並行して実施する。

児童のICT活用の推進

小学校全普通教室に電子黒板を整備、タブレット端末を倍増

無線LAN、ICT支援員の追加配置も実施

事業の拡充

事業経費

8億6,023万円

◆事業内容

- ○新学習指導要領の全面実施に合わせ、小学校全普通教室への電子黒板整備を完了します。
- ○小学校等(※)の規模に応じて、タブレット端末を追加整備します。
- 電子黒板・タブレット端末の導入に併せ、無線LAN、ICT支援員を追加配置します。
- ※ 義務教育学校前期課程を含む

◆目的

学校のICT環境を整備し、すべての児童に質の高い教育を提供し、新しい時代に必要となる 資質・能力を育成します。

◆効果

- ○電子黒板やタブレット端末の活用により、児童の興味や関心を高める授業、わかりやすい授 業づくりが実現するとともに、情報活用能力の向上につなげます。
- ○無線LAN、ICT支援員の追加配置により、ICT機器の使用環境、教員のICT活用指導力 の向上が図れます。

◆令和2年度新規事業

電子黒板

小学校1~4年生の全普通教室に電子黒板を整備 <整備実績>

平成28年度 全小・中学校の各フロアに1台整備 令和元年度 小学校5・6年生の全普通教室に整備

タブレット

|約8,000台に増設(現在、小学校等に約4,000台導入済)

無線 LAN 小学校等の全普通教室等に増設(現在、可搬型1校14台)



電子黒板(イメージ)

ICT支援員 各小学校等に月5.5回派遣(現在、月2回派遣)

※ 中学校・義務教育学校後期課程の追加整備は、新学習指導要領の全面実施に合わせ 令和3年度実施予定

◆他区の状況

電子黒板の小学校全普通教室への整備は23区中17区で実施

タブレット端末を導入した授業(イメージ)

長期計画の該当項目:施策7 多様なニーズに応じた教育環境の充実

担当課:学務課 電話:3647-9176

窓 口:6階2番 内線:3335 不登校児童・生徒の学習機会を拡充

ブリッジスクールを新たに1か所開設

学習意欲を高めるための場所を確保

事業の拡充

事業経費

1,307万円

◆事業内容

- ○不登校児童・生徒に学習指導等を行う適応指導教室(以下、ブリッジスクール)を、南砂中学 校内に新たに1か所開設します。
- ○新たなブリッジスクールは中学生を対象とし、既存のブリッジスクールで行っている自習時間 や個別学習指導に加え、教科指導を行います。

◆目的

- 不登校児童・生徒の居場所づくりとともに次のステップへの意欲を高めるための場所の確保 を図ります。
- ○ブリッジスクールにおいて個別学習指導や心のケア等を行い、学ぶことの大切さや社会性を 育成し、学校への復帰等を目指すとともに、社会的自立への支援の充実を図ります。

◆ブリッジスクール概要(教育センター教室・東大島教室)

指導内容	学習指導、校外学習や職場体験等の体験活動、児童・生徒との個別相談、 保護者への助言・相談など		
対 象	長期間学校を欠席している、区立小学校3年生以上の児童および区立中学校の生徒(※)で、本人・保護者がブリッジスクールへの入級を希望し、かつ校長により入級が適当と認められた者等		
指導形態	○入級前の学校に籍を置いたまま通級○学校・保護者・区関係諸機関と連携し、児童・生徒の学校復帰等を支援		
活動日	区立の小・中学校等に準ずる		
実 績	平成30年度 教育センター教室(東陽二丁目3番6号) 61人 東大島教室(大島九丁目4番2号) 58人		

※ 義務教育学校前期課程3年生以上の児童および後期課程の生徒を含む

口:6階4番

◆令和2年度新規開設

開設場所 南砂中学校(南砂二丁目3番20号)内

対象

区立中学校および義務教育学校の後期課程に在籍する生徒

長期計画の該当項目:施策7 多様なニーズに応じた教育環境の充実

雷話:3647-9179 担当課:指導室

内線:3385

悩み事を抱える生徒に切れ目のないサポート

SNSによる教育相談を毎週1回に拡充

1年を通じた教育相談体制を確保します

事業の拡充

事業経費

709万円

◆事業内容

令和元年夏期に開設した、スマホアプリ「LINE」による教育相談事業を拡充し、悩み事を抱えている生徒のための相談窓口を年間を通じて開設します。

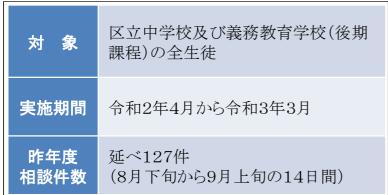
◆目的

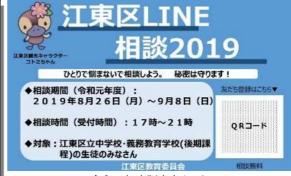
いじめ、不登校、友人関係、家庭環境等、様々な悩みを抱えながらも誰にも相談できない生徒に対して、LINEによる教育相談を実施し、問題の深刻化を未然に防止します。

◆特色·効果

- 周囲に相談しにくい場合にも、LINEを活用することにより、匿名で気軽に悩みを相談することができます。
- ○夏休み明けに加えて、年間を通じて週1回相談できる体制を整えることにより、継続的な相談や相談後の経過をフォローすることができ、問題の早期解決が図れます。

◆概要





令和元年度版案内カード

◆他区の状況

令和元年度文京区で実施 (期間は令和元年8月18日~9月14日)

口:教育センター2階



長期計画の該当項目:施策7 多様なニーズに応じた教育環境の充実

担当課:教育支援課 電話:3647-9307

内線:直通電話のみ

第二大島中学校改築事業 2 子育で・教育 二亀戸小学校増築事業 等

施設の老朽化・増加する児童への対応

第二大島中学校を改築・第二亀戸小学校を増築

児童・生徒が明るくのびのびと学ぶことができる教育環境の確保に向けて!

新たな取組み

事業経費	事業名		2年度	総事業費
	着 工	第二大島中学校改築事業	12億1,496万円	49億4,743万円
		第二亀戸小学校増築事業	8億4,769万円	25億3,236万円
	実施中	東川小学校増築事業	5億4,938万円	10億2,188万円
		豊洲西小学校増築事業	16億7,116万円	23億696万円
		数矢小学校增築事業		7億4,980万円

◆事業内容

- ○施設の老朽化による教育環境の低下に対応するため、第二大島中学校の校舎等の改 築計画を進め、令和4年8月からの供用開始を予定しています。
- ○区の地場産業である木材を利用した"江東区らしい学校施設"とするため、第二大 島中学校の校舎を木質化(※)します。
- ○区内の集合住宅の建設に伴う児童の増加に対応するため、第二亀戸小学校の校舎の 増築計画を進め、令和4年4月からの供用開始を予定しています。
- ※ 木質化:建築物の内装及び外装の全部または一部に木材を使用すること

◆目的

- ○老朽化が進んだ校舎等を改築し、生徒の良好な学習環境の確保を図ります。
- ○集合住宅の開発が集中する地域における児童の良好な学習環境の確保を図ります。

◆整備概要

学校名	所在地	スケジュール
第二大島 中 学 校	大島三丁目27番18号	令和2~4年度 工事 令和4年6月 竣工
第二亀戸 小 学 校	亀戸六丁目36番1号	令和2~3年度 工事 令和4年2月 竣工



第二亀戸小学校(増築完成イメージ)



口:6階8番



第二大島中学校(改築完成イメージ)

長期計画の該当項目:施策7 多様なニーズに応じた教育環境の充実

担当課:学校施設課 電話:3647-9173

内線:3271

3健康·福祉

東京2020大会のレガシーを活用したスポーツの振興

誰もが身近にスポーツを楽しめる環境の創出

スポーツを通じて、誰もが健康にいきいきと暮らせるまちに!

事業の拡充

事業経費

464万円

◆事業内容

東京2020大会の開催で高まったスポーツへの関心を定着させるため、「こどもカヌー大会」 および「ファミリースポーツチャレンジ」を拡充して開催します。

◆拡充内容(予定)

- 令和元年度に初めて開催した「ファミリースポーツチャレンジ」の来場者が大幅増となったこ とから、区民のスポーツ実施意欲の高まりをさらに促進するため、イベント規模などを拡大し ます。 ※ファミリースポーツチャレンジは、平成30年度まで「こどもスポーツデー」として実施
- 東京2020大会開催を受け、レガシー創出を念頭に置き、オリンピック・パラリンピック競技 種目の体験プログラムを、令和元年度実施の8種目から、さらに種目数の拡充を図ります。 ※ 具体的な実施種目については、今後決定

▶参加者数の推移

イベント	平成30年度	令和元年度
こどもカヌー大会	825人	923人
ファミリースポーツチャレンジ	5,293人	9,050人



どもカヌー大会の様子





◆目的

- スポーツに親しむ"きっかけづくり"を充実することにより、スポーツ を通した心身の健康づくりを推進します。
- オリンピック・パラリンピックを契機に、区民のスポーツに対する意 識の向上を図り、スポーツ実施率の向上を目指します。

◆特色

- 年齢や性別、障害の有無に関わらず、ライフステージや関心の度合いに応じて、誰もが身 近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる機会を創出します。
- 江東区の特色である豊かな水辺環境を生かした水辺のスポーツを推進します。

長期計画の該当項目:施策14 スポーツを楽しめる環境の充実

担当課:スポーツ振興課 雷話:3647-4887

口: 4階34番 内線:3371

誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

潮見庭球場を車いすテニス対応施設に改修

専用駐車場の整備やバリアフリー工事を実施

新たな取組み

事業経費

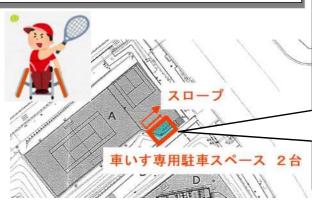
3,135万円

◆事業内容

潮見庭球場テニスコートの近くに、2台分の車いすテニス専用駐車場やスロープを整備することで、車いすによる移動動線を確保し、障害者の方が気軽に車いすテニスを行うことができる施設に改修します。

◆実施場所

潮見庭球場(江東区潮見一丁目1番1号)





◆目的

- ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備・バリアフリー改修を行い、誰もが地域で気軽にスポーツ・運動を楽しむことができる場所、機会を提供します。
- 東京2020パラリンピック競技種目である車いすテニスの利用増加が見込まれることから、競技熱の高まりを一過性のものとせず、定着させるために身近で気軽に車いすテニスが楽しめる環境を提供します。

◆効果

身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことのできる環境整備を通じ、誰もがいきいきと暮らせる地域社会の形成や、健康の保持・増進が期待できます。

◆他区の状況

車いすテニスができるハードコートの庭球場設置済み 足立区・葛飾区・江戸川区・墨田区

長期計画の該当項目:施策14 スポーツを楽しめる環境の充実

担当課:スポーツ振興課 電話:3647-4887

窓口:4階34番内線:3371

めざせ!KOTO フードマスター

3-3 食育推進事業

23区初!区独自の江東区家庭料理検定を実施

家族で受検し「食」を通じた家族のコミュニケーションを!

新たな取組み

事業経費

454万円

◆事業内容

全国家庭料理検定を実施している、女子栄養大学生涯学習センター協力の下、小・中学校で学ぶ家庭科の「食」の内容を基にした問題に、区独自の問題を加えた食育の検定を創設します。また、内容を分かりやすく学べる食育の検定講座も実施します。

◆目的

- 将来を担う児童・生徒が、食に関する基礎的な知識と選択力を身に付けることで、自ら生涯の健康を維持・増進することにつなげます。
- 日本の食文化、食事のマナー、バランスのとれた食事や基礎的な調理の仕方などを身に付けるとともに、区独自の食文化についても関心を深め、食の郷土愛を高めます。
- 対象を小・中学生に限らず、一般受検も受け付けることで家族での取組みを促し、検定受検 を通じた家族間コミュニケーションの充実を図ることができます。

◆検定概要

難易度	対 象	検定日	実施場所	試験概要	
初級	小学校5•6年生	令和3年1月8日~17日 のうち、各学校が設定す	各小·中学校、 義務教育学校	検定時間:30分	
中級	中学1年生	る一日		二肢択一方式	
*	一般(高校生以上)	令和3年1月17日	保健所 保健相談所	6割以上正解で認定	
※ 一般受検者は初級・中級のいずれかを選択して受検(有料)					

◆他区の状況

区独自問題を取り入れるのは、23区初

◆出題の例(家庭料理検定より)





長期計画の該当項目:施策17 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実

担当課:健康推進課 電話:3647-6713 窓 口:江東区保健所2階9番 内線:直通電話のみ 住み慣れた地域での生活を支援します

特別養護老人ホームの整備・改修、認知症高齢者グループホームの整備

「ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち」を実現

新たな取組み

事業経費

7億6.736万円

◆事業内容

- ○介護が必要な高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活できるように、10年間で「特別養護老人ホーム」の新規整備(3か所)・移転改築(2か所)・大規模改修(3施設)を行います。
- 認知症の高齢者が家庭的な環境でケアを受けられる「認知症高齢者グループホーム」を、 毎年度2施設の新規整備を進めます。

◆整備概要

	施設	整備期間	概要
		令和5年度~令和6年度	1施設 場所未定
新規整備	特別養護老人ホーム	長期計画後期期間中(令和7年度~令和11年度)	2施設 場所未定
	認知症高齢者グループ ホーム	令和2年度~令和11年度	各年度2施設 場所未定
移転改築	特別養護老人ホーム	令和4年度開設予定	住吉一丁目·深川二丁目 (移転後増床予定)
大規模改修	特別養護老人ホーム	令和4年度~令和8年度	3施設 (江東ホーム、北砂ホーム、 塩浜ホーム)

◆区内現況(令和元年12月現在)

口: 3階8番

	特別養護老人ホーム	認知症高齢者 グループホーム
施設数	15施設	19施設
定 員	1,402床	342床



特別養護老人ホーム「塩浜ホーム」

◆整備後(令和6年度)

	特別養護老人ホーム	認知症高齢者 グループホーム
施設数	16施設	29施設
定 員	1,666床(見込み)	531床



長期計画の該当項目:施策19 高齢者支援と活躍の推進

担当課:長寿応援課 電話:3647-4331

認知症の方やご家族を地域で支える「チームオレンジ」の構築を目指して

認知症サポーター ステップアップ研修の実施

認知症サポーターの新たな活動を後押し

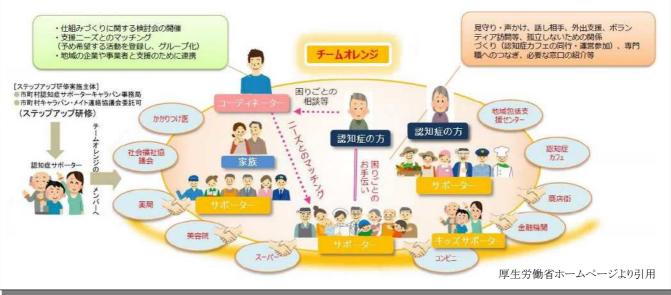
新たな取組み

事業経費

66万円

◆事業内容

養成講座を修了した認知症サポーターが、地域で「チームオレンジ(※)」の一員として新たに活動するために、チームの理念や活動に必要な知識、技術を習得し、支援者としてレベルアップを図ることができる「認知症サポーター ステップアップ研修」を実施します。



※ チームオレンジ: 認知症サポーター等が作る支援チームにより、認知症の方やその家族のニーズに沿った具体的な支援につなげる仕組み。 国の「認知症施策推進大綱」(令和元年6月閣議決定)において、2025年までに全ての市区町村で設置することが掲げられています。

◆目的

- ○研修を通じて、認知症サポーターの意識や知識等の向上を図ります。
- サポーターの新たな活躍の場の創出や、活動拠点の立上げ等に向けた取組みを側面から支援します。



◆特色

- ○本区の地域特性や受講生の希望に合わせて、研修内容を工夫するとともに、全5回の研修 を通して、認知症に関する普及啓発方法や活動の組織化など、幅広い内容を学びます。
- 研修受講後に、サポーターを組織化し、地域活動につなげることで、認知症の方やそのご 家族を支える体制を、より身近な場所で充実させます。

◆開始予定

令和2年度下半期開始予定

長期計画の該当項目:施策19 高齢者支援と活躍の推進

担当課:地域ケア推進課電話:3647-4398

窓口:3階7番 内線:2635

安定した介護サービス提供のための人材確保対策

資格取得支援や外国人介護従事者向け日本語教室を実施

介護事業所へ介護ロボット導入支援も行い、働きやすい職場環境へ

事業の拡充

事業経費

874万円

◆事業内容

- 介護職員初任者研修受講費用の助成対象者の拡大及び、介護福祉士実務者研修受講 費用の助成を新たに行います。
- 介護ロボット(センサーを生かした見守りシステム等)の導入を支援します。
- 外国人介護従事者向けに、介護の日本語教室を開催します。

◆背景・目的

高齢化の進行や介護人材の不足などへ対応するため、就労希望 者や介護従事者、介護事業所への支援を充実し、安定した介護サービスを継続できる体制を再構築します。



◆効果

- 既存の介護スタッフ養成研修を含め、段階的に介護の資格取得に関する支援を行うことで、 介護従事者のモチベーションの向上を図ります。
- 見守り機能を持つ介護ロボットを導入することにより、介護従事者の業務負担軽減や被介護者の転倒予防を図ります。
- 区内介護事業所に就労する外国人介護従事者向けに、介護現場に即した日本語教室を 開催し、介護の記録や資格取得等に必要な日本語力の向上を図ります。

◆事業概要

内 容	対 象	概要	
介護職員初任者研修の受講 費用助成 (※)	区内介護事業所へ就労している方 又は研修修了後に区内介護事業所	補助率:9/10 補助上限額:7万円	
介護福祉士実務者研修の 受講費用助成	に就労した方で、各研修修了後に 6か月以上継続して就労している方	補助率:9/10 補助上限額:12万円	
見守り機能を持つ介護ロボット導入費用補助	区内特別養護老人ホーム 区内認知症高齢者グループホーム	補助率:9/10 補助上限額:27万円	
外国人介護従事者向け 「介護の日本語教室」	介護に関心のある方又は既に区内 介護事業所に就労している方	週1回、3か月間程度 の開催を予定 場所:文化センター等	
※ 平成29年度より実施。令和2年度より対象を拡大			

長期計画の該当項目:施策21 地域福祉と生活支援の充実

担当課:長寿応援課 電話:3647-4331

窓 口:3階8番 内線:2614

障害者のコミュニケーション支援

手話言語の普及・障害者との意思疎通の促進

障害の有無にかかわらず、誰もが社会に参加できるまちづくりを推進

新たな取組み

事業経費

767万円

◆目的

令和2年4月施行予定の「江東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」を踏まえ、誰もが円滑なコミュニケーションを図れる環境を整備し、障害の有無にかかわらず、互いに分け隔てなく理解し合うことができる、共生社会の実現を目指します。

◆事業概要

手話言語の普及と障害者の意思疎通の促進を図るため、以下の事業を展開していきます。

項目	内容
コミュニケーションボード	日常生活だけでなく、災害時にも役立つ、指差しでコミュニケーションがとれるボードをブック形式で作成し、配布します。
条例の普及・啓発動画	「江東区手話言語の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」について、手話も活用した動画で分かりやすく説明します。
ヒアリングループ (※) の設置 窓口用ヒアリングループ使用の様子	① 窓口用ヒアリングループ 持ち運びが容易で集音器としても使える対話用のヒアリングループ を窓口に設置し、難聴者の円滑なコミュニケーションを支援します。② 会議用ヒアリングループ ループアンテナで必要な場所を囲むことで、難聴者に聞き取りや すい音声を届けます。区の会議や説明会、講演等で活用します。
パンフレット 「手話を知ろう!」	手話でのあいさつや思いを伝える表現、災害時にも活用できる手話などを紹介するパンフレットを引き続き作成します。

※ ヒアリングループ:補聴器や人工内耳に内蔵される磁気誘導コイルを使って利用できる難聴者の補聴援助システム

◆関連事業

<筆談ボードの設置>庁舎の窓口職場に耳や言葉の不自由な方が来庁 した際、円滑なコミュニケーションが図れるように筆談ボードを設置します。

◆効果

- 全ての区民が障害の有無にかかわらず、社会活動に参加し、安心して 心豊かに生活するために、障害者の意思疎通を促進します。
- 日常生活及び災害時において、障害特性に配慮した意思疎通手段が 確保された環境を整備します。



「手話を知ろう!」表紙

長期計画の該当項目:施策20 障害者支援と共生社会の実現

担当課:障害者施策課 電話:3647-4749

窓口:防災センター2階17番 内線:2641

4 緑 環境

→ >4-1 CIG公共緑化推進事業

みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」を実現

魅力的でうるおいのあるみどりのネットワークを形成

シンボルツリーや地域特性を活かしたみどり豊かなまちなみづくりを進めます

新たな取組み

事業経費

9.790万円

◆事業内容

- 駅前広場などにシンボルツリーや花壇を設置し、みどり豊かなまちづくりを進めます。
- 各地域の歴史的背景や特性に応じた樹種を選定し、公園・散歩道等に植栽します。
- みどり豊かなまちなみづくりに向けて、公園の接道部を積極的に緑化します。

◆「CITY IN THE GREEN」とは

「CITY IN THE GREEN」とは、江東区が目指すみどりのまちづくりの基本となる考え方であり、「都市の中のみどり」ではなく、「みどりの中の都市」をイメージした緑化推進事業の総称です。まちなかのあらゆる場所での緑化を進めることで、まち全体がみどりに囲まれた「水彩都市・江東」を実現する姿をイメージしています。

◆シンボルツリー・花壇設置の効果

駅前広場などにシンボルツリーや花壇を設置することで、うるおいのある魅力的な景観を創出し、憩いの場を 提供します。



シンボルツリー イメージ



駅前花壇 イメージ

◆施工予定

	シンボルツリー 花壇の設置
整備数	年2か所を予定

2 年度 施工箇所

- 亀戸駅前
- 東大島駅前



◆特定樹種緑化の効果

歴史的背景や地域特性に応じた特定樹種を整備することで、みどりを活かした地域の歴史・ 文化を感じられるまちなみを創出します。



古石場川親水公園「牡丹」



亀戸天神社「藤」



亀戸天神社「梅」

長期計画の該当項目:施策1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現

担当課:管理課・道路課・河川公園課

窓 口:防災センター3階3番・5番・6階1番

電話:【管理】3647-2079 【道路】3647-9665

内線: 【管理】6476 【道路】6441 【河川】6471

こどもたちによる花のおもてなしプロジェクト!

「こうとう☆花いっぱい運動」を実施

競技会場周辺(ラストマイル)を華やかに彩ります

新たな取組み

事業経費

1,016万円

◆事業内容

区立幼稚園、小学校・中学校・義務教育学校の全校園の幼児・児童・生徒が育てた花や応援・歓迎メッセージ、イラストを会場周辺(ラストマイル付近の区立公園)に飾ります。

◆目的·効果

- ラストマイル上にある区立公園でこどもたちが育てた花を展示するとともに、選手への応援 メッセージや観戦者への歓迎メッセージを表現することにより、来訪者に対するおもてなしを 行います。
- ○こどもたちの東京2020大会への参加意識を醸成し、こどもたちの心に残る体験となります。



長期計画の該当項目:施策6 一人一人に向き合う学校教育の充実

口:6階4番

担当課:指導室 電話:3647-9178

区民生活への影響を回避

東京2020大会期間中にごみ収集車両を増車

交通渋滞等への対策を万全に!

事業の拡充

事業経費

7.392万円

◆事業内容

東京2020大会期間中の交通渋滞等の対策として、ごみ収集車両を増車し、区民生活に支 障がないように円滑なごみの収集を図ります。

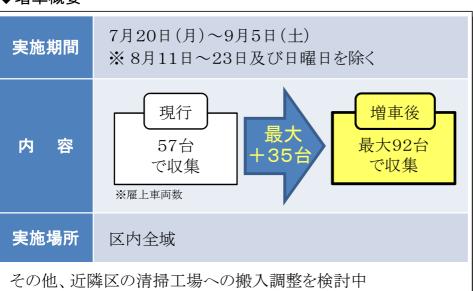
◆背景

- 大会時の交通混雑緩和を目指す「2020TDM推進プロジェクト(※1)」によると、1日延約50,000~60,000台の大会関係車両による交通量の増加及び、一般道と高速道路の交通規制等に伴い、都内で平常時と比して30%以上の渋滞が予想されています。
- 大会最多の競技会場・競技数 (※2) を有する本区は、大会期間中の交通規制等の 影響がごみ収集にも及ぶと予想されます。
- ※1 大会時の安全・円滑な輸送サービスの提供と、都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的に、東京都、内閣官房、東京2020組織 委員会が事務局となり、大会時の交通混雑緩和を目指すプロジェクト
- ※2 区内の競技会場配置 オリンピック:12競技 10会場、パラリンピック:8競技 7会場

◆効果

大会期間中の区民生活への影響を回避するほか、衛生的な環境の保持、環境美化による 来訪者への配慮及びテロ対策等の効果があります。

◆増車概要





ごみ収集車両



ごみ収集風景

長期計画の該当項目:施策3 持続可能な資源循環型地域社会の形成

口:清掃事務所

担当課:清掃事務所 電話:3644-6216

内線: 直通番号のみ

5產業・生活

区独自ボランティアがさらなる"おもてなし"

大会本番に向け「江東サポーターズ」の活動をバックアップ

東京2020大会をあらゆる角度からサポートします!

事業の拡充

事業経費

6,349万円

◆事業内容

東京2020大会に向け、平成31年4月から募集・運用を開始した区独自ボランティア「江東サポーターズ」の活動をバックアップし、サポーターズ事務局機能の強化やサポーターズグッズの充実を図ります。

◆目的

ボランティアに意欲のある区民へ参加の機会を提供し、大会期間中、国内外から訪れる多くの観客へのおもてなしを区内全域で行うことにより、区民と一体となって大会を盛り上げます。

◆令和2年度の活動例(予定)

	イベントボランティア	聖火リレー	各国練習会場の 運営補助	美化活動
内容	区イベントでの運営補助	聖火リレーの運営補助	区内練習会場での 通訳補助 等	ラストマイルでの清掃 活動 等
期間	① 5月17日(日) ② 6月 ③ 10月	【オリンピック】 7月22日(水) 【パラリンピック】 8月22日(土)	7月~8月	大会期間中
場所	① 江東こどもまつり ② 豊洲シビックセンター ③ 江東区民まつり中央まつり	聖火リレーコース沿道 等	豊洲西小学校 等	各競技会場周辺

◆登録者数

約1,070人(令和元年12月末現在)

◆令和元年度の主な活動実績

• •	・17 日の 1 次の 上 の 1 3 3 人 (東			
日付	8月13日(火) ~17日(土)	7月~11月	11月24日(日)	
内容	フランス、オーストラリア トライアスロンチーム 通訳等補助	「KOTOスポーツキャラバン to東京2020」 運営等補助(5回)	「江東シーサイドマラソン 大会」 運営等補助	
場所	有明スポーツセンター 越中島プール	アリオ北砂 旧中川・川の駅 スポーツ会館 都立木場公園 ららぽーと豊洲	夢の島競技場 等	





長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(3) 自主・自律的な区政運営の推進

担当課:オリンピック・パラリンピック推進課 電話:3647-4410

窓 口:10階1番 内線:2122

江東区に聖火リレーがやってくる!

オリンピック・パラリンピック聖火リレーで盛り上げイベントを実施

聖火ランナーと沿道の皆さんが一体となって華やかさを演出します

新たな取組み

事業経費

4.140万円

◆事業内容

- ○7月22日(水)、区内を走行するオリンピック聖火リレーにおいて、富岡八幡宮で出発式を行うとともに、通過する沿道では、こどもたちによる音楽演奏等の盛り上げイベントを実施します。
- パラリンピック聖火リレーでは、区内を走行する前日にパラリンピック採火式を実施し、リレー当日にも盛り上げイベントを実施します。

◆目的·効果

- ○多くの区民の心に刻まれ、心のレガシーとして残るような聖火リレーの演出を行います。
- 聖火ランナーと沿道の観客が一体となり、区全体でオリンピック・パラリンピック聖火リレーを盛り上げます。

◆区内で実施するオリンピック・パラリンピック聖火リレー

	オリンピック	パラリンピック
実施日	7月22日(水) (当日は江東区→品川区→大田区を巡る)	8月22日(土) (当日は千代田区→台東区→墨田区→ 江東区→江戸川区を巡る)
ルート	出発:富岡八幡宮 到着:香取神社前(明治通り(亀戸))	未定
イベント(予定)	出発式(富岡八幡宮) 沿道等での音楽演奏 等	未定





富岡八幡宮

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(3) 自主・自律的な区政運営の推進

担当課:オリンピック・パラリンピック推進課

窓 口:10階1番

電話:3647-4410

東京2020大会の開催に向けた気運醸成イベント

「KOTOスポーツキャラバン to 東京2020」の総決算

オリンピック・パラリンピックを身近に体感し思い出にしよう!

事業の拡充

事業経費

3,075万円

◆事業内容

平成30年度から実施している競技体験イベントの「KOTOスポーツキャラバンto東京2020」では、東京2020大会の開催に向けた気運醸成の総決算として、大会直前イベントを開催するとともに、大会終了後には、今大会を振り返る企画を実施します。

◆目的

区内に多くの競技会場が配置される本区において、区民・事業者など区内のさまざまな主体 と連携したイベントの開催や大会後企画を実施することで、区民の心にオリンピック・パラリン ピックのレガシーを残します。

◆令和2年度の事業予定

開催時期	5月17日(日)	6月	10月
会 場	都立猿江恩賜公園 (江東こどもまつり)	豊洲シビックセンター	都立木場公園 (江東区民まつり中央まつり)
実施内容	競技体験、デモンストレ	ーション、大会競技関連の公	企画展示、ゲスト招へい等

◆令和元年度(全8回開催)の主な実績

E	付	7月28日(日)	10月19日(土)・20日(日)	11月9日(土)・10日(日)
会	場	アリオ北砂	都立木場公園 (江東区民まつり中央まつり)	三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲
内	容	【競技体験】 トランポリン、ボッチャ 【デモンストレーション】 トランポリン	【競技体験】 スポーツクライミング、トランポリン、ボッチャ、5人制サッカー 【デモンストレーション】 スポーツクライミング 【その他】 ミライトワ・ソメイティ グリーティング	【競技体験】 スケートボード、自転車競技(BMX)、テニス、車いすテニス 【デモンストレーション】 スケートボード、自転車競技(BMXフリースタイル)
参加	者数	750人	3,130人	2,031人











長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(3) 自主・自律的な区政運営の推進

担当課:オリンピック・パラリンピック推進課

窓口:10階1番

電話:3647-4410

東京2020大会で江東区の魅力を世界へ発信!

豊洲に(仮称)江東区観光案内所を設置

臨海エリア競技会場の玄関口で、区ならではのおもてなし

新たな取組み

事業経費

4.509万円

豊洲シビックセンター

◆事業内容

東京2020大会期間中に、本区を訪れた観光客向けに、臨海エリア競技会場の玄関口であ る豊洲に観光案内所を設置します。

◆目的・効果

- 東京2020大会期間中に、本区を訪れる観光客を温かく迎え、区の魅力をPRします。
- ○地域資源を活用した観光施策を展開し、来訪者に広く観光情報をPRすることで、江東区内 の各地域への回遊性を高めるとともに、おもてなしの心で迎える態勢を整え、観光客の満足 度を高めます。

◆特色

- ○窓口での対面案内、電話対応、パンフレット等の配布を主な業務とし、英 語・中国語に対応可能な専門スタッフが常駐します。
- ○ボランティア等による日本文化等の体験イベントを実施します。
- 江東区文化観光ガイド(※)による「豊洲地区まちあるきツアー」を実施します。
- ○伝統工芸の実演や物産品・土産品等を展示、販売します。

※ 所定の養成カリキュラムを修了した区民を中心とするボランティアが案内役(ガイド)を務め、区内の観光スポットや多 種多様な地域資源を紹介するサービスを実施

◆実施場所

◆設置期間

豊洲シビックセンター(豊洲2-2-18) 1階ギャラリー

令和2年7月中旬~9月中旬

※ 本区では門前仲町と亀戸に観光案内拠点施設

があるが、東京2020大会競技会場付近に、観 光案内機能を持つ施設を期間限定で開設



豊洲市場と豊洲ふ頭を周遊することができる「豊洲ぐるり公園」

東京2020オリンピック・パラリンピック 👣

長期計画の該当項目:施策15 文化・歴史の継承と観光振興

担当課:文化観光課 雷話:3647-3312

内線:3365 口: 4階33番

5 産業・生活

オリンピック・パラリンピック教育推進事業 5-5 オリンピック・パラリンピック開催準備事業

オリンピック・パラリンピック体験を未来のこどもたちに伝える

オリンピック・パラリンピック教育ドキュメンタリーDVDを作成

貴重な教育活動や開催準備の軌跡を記録に残し、レガシーに!

70 P	たな		Ø ■	F7.
		- N 7 P	:: O	AL
7.57			ш	

事	事業名	2年度
業経	オリンピック・パラリンピック教育推進事業 (ドキュメンタリーDVDの作成)	9 4 9 万円
費	オリンピック・パラリンピック開催準備事業 (開催準備事業実施報告書の作成)	6 2 万円

◆事業内容

東京2020大会開催に向けた、全区立幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校でのオリンピック・パラリンピック教育の取組みをレガシーとするため、ドキュメンタリー映像のDVDを作成します。

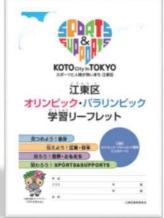
◆目的·効果

- 気運が高まる開催年度に本区ならではの教育活動を記録に残し、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして区民や学校教育の財産としていきます。
- ドキュメンタリー映像を特別活動や道徳、総合的な学習の時間、図工等の授業で活用することで、将来の目標を漠然と捉えがちな現代のこどもたちに対し、夢を持つことやその実現に向けて努力することの意義について考える機会を提供します。

◆特色

DVDの各コーナーには分かりやすい見出しをつくるとともに、各30~40分程度に編集し、様々な授業に導入可能な構成とすることで、将来のこどもたちへの教材として活用します。







江東区オリンピック・パラリンピック学習 リーフレットを活用した公開授業の様子

【オリパラ】 2117

◆「オリンピック・パラリンピック開催準備事業実施報告書」の作成(オリ·パラ推進課)

東京2020大会開催までの取組みの軌跡や、大会期間中の活動等を記録・総括し、 東京2020大会のレガシーとするため、オリンピック・パラリンピック開催準備事業実施 報告書を作成します。

長期計画の該当項目:施策6 一人一人に向き合う学校教育の充実

担当課:指導室・オリンピック・パラリンピック推進課 電話:【指導】3647-9178 【オリパラ】3647-5513

窓 口:6階4番・10階1番 内線:【指導】3381

令和元年度協働事業提案制度 採択事業

地域の課題を区と協働で解決

パブリックアートを活用した観光振興&脱孤育て推進事業

事業の拡充

事業経費

325万円

◆事業内容

地域課題の解決に取り組むため、協働事業提案制度で採択された事業を、市民活動団体(町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体等)と区が協力して実施します。

◆目的

採択事業の実施を通じて、地域へ協働に対する理解を広め、市民活動団体の柔軟な発想や 専門性を公共サービスに取り入れる仕組みを推進します。

◆採択事業(提案時の事業名称を一部変更しています)

事業名	パブリックアートを活用した観光振興	脱孤育て推進事業
提案団体	江東区文化観光ガイドの会	一般社団法人ママリングス
目的	区内各所に設置されたパブリックアートを新たな観光 資源として活用することで、江東区の文化・芸術の発 信と地域活性化を図ります。	地域におけるこども安心安全ネットワーク(自助・共助・公助による相互連携)を構築することで、「こども 虐待ゼロの街・江東区」を目指します。
主な内容	区内のパブリックアート(※)の作品情報をパンフレットやホームページで紹介するほか、パブリックアートを活用した観光ガイドツアーの実施等を通じて、区内観光の新たな魅力発見につなげます。 ※ 主に約30年前に区内公園等に設置された約80点の芸術作品の総称 亀戸駅前公園に設置された玄武像「HANEKAME'92」	子連れでも利用しやすい施設、店舗等の情報をWebで発信する子育で応援マップのほか、地域の子育で支援協力者向けこども虐待予防研修プログラムを作成・実施し、孤立しがちな子育でを地域で支援します。(2か年事業として採択)
担当課	文化観光課	こども家庭支援課

◆過去3年間の採択事業(事業は採択された翌年度に実施)

採択年度	採択事業
平成28年度	○地域障害者交流事業 さるえ (2か年事業として採択)
平成29年度	○身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化事業 ○日本語指導が必要な児童・生徒への学習・日本語支援事業
平成30年度	○ブラウンバッグ推進活動

長期計画の該当項目:施策11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化

担当課:地域振興課・文化観光課・こども家庭支援課

窓 口: 4階26番·4階33番·3階15番

- 【地域】3647-8570【文化】3647-3312

「こども】3647-4408

内線: 【地域】2414【文化】3365【こども】2783

芭蕉旅立ちの地である深川から俳句の魅力を発信!

「奥の細道サミット in 江東」開催

五・七・五に日本人の美意識を探る

新たな取組み

事業経費

507万円

◆事業内容

奥の細道ゆかりの自治体(※)や関係機関(42団体)で構成され、昭和63年に発足・設立した「奥の細道サミット(第33回)」を開催します。

※ 都内自治体では、本区のほかに足立区、荒川区が参加

◆目的·効果

- 松尾芭蕉の業績を顕彰するとともに、奥の細道と本区及び加盟団体との関わりを広く区内外に発信することで、地域活性化や区民の文化振興の充実を図ります。
- 国内外からの関心が高まる東京2020大会イヤーに開催することで、多くの方に本区の魅力的な文化観光資源を知ってもらう機会を創出します。
- 区民の郷土意識の醸成と日本人の自然観・美意識を再認識するきっかけとなります。

◆特色

- 区の特色ある俳句活動を紹介するとともに、俳句大会の表彰 やトークショーなど、記念イベントを実施します。
- 加盟団体の参加者を対象に、芭蕉記念館をはじめ区内 の名所を巡る見学ツアーを実施します。
- 区内施設等で奥の細道サミットのプレイベント(スタンプラリーなど)を実施することで、サミット開催に向けた気運を 醸成します。



芭蕉庵史跡展望庭園の芭蕉翁像

◆開催日程·実施場所(予定)

プレイベント	サミット1日目 12月5日(土		サミット2日目 12月6日(日)		
・開催に合わせて、区内のオルケーの	・サミット理事会、総会				
の文化施設等を巡る スタンプラリー などを開催	・講演会 (俳句大会表彰、トークショー)	深川江戸資料館	• 区内見学 (対象:加盟団体)	豊洲市場 豊洲ぐるり公園 オリパラ競技会場 芭蕉記念館 など	
(37)	•交流会	ホテルイースト21			

◆過去の開催

第12回(平成11年度)に続き2回目の開催

口: 4階32番

長期計画の該当項目:施策15 文化・歴史の継承と観光振興





担当課:文化観光課 電話:3647-9819

自宅や外出先でも簡単に納付できます!

税金・保険料の支払いに「LINE Pay」を導入

いつでも・どこでも可能なキャッシュレス決済

事業の拡充

事業経費

35万円(納税18万円·医療保険17万円)

◆事業内容

特別区民税・都民税(普通徴収)、軽自動車税、国民健康保険料について、公金の支払いが可能な「LINE Pay 請求書支払い」を導入します。

◆目的·効果

- ○納付書に印字されたコンビニバーコードをスマートフォンで読み込むだけで、事前にチャージ した「LINE Pay」の残高から支払うことができます。
- ○都合の良い場所・タイミングで支払いが完了し、現金引き出しの手間や銀行、区役所窓口等 に出向く時間を省くことが可能です。
- ○知名度の高いキャッシュレス決済(スマホ決済)を導入することで、収納機会を拡大し、特に若年層の利便性の向上を図ります。

◆背景

2018年4月経済産業省が策定した「キャッシュレス・ビジョン」によれば、「支払い方改革宣言」として、2025年に向けて高いキャッシュレス決済比率の実現のため、取組みを進めるとされていることから、キャッシュレス決済に対する需要や認知度が高まっています。

◆運用開始予定

令和2年5月~





◆他区の状況

渋谷区:税金・国民健康保険料、練馬区:税金(ともに令和元年度より開始)

長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(3) 自主・自律的な区政運営の推進

担当課:納税課・医療保険課 電話:【納税】3647-2063【医療】3647-3169 窓 口:5階7番・2階8番 内線:【納税】2346 【医療】2572

ICT利活用の推進

ICTを活用した業務の効率化と区民サービスの向上

RPAなどICT(情報通信技術)を業務に積極的に活用

新たな取組み

事業経費

2億5.465万円

◆事業内容

- RPA (Robotic Process Automation:業務の自動化ツール)を一部業務に導入します。
- タブレット端末を使用したペーパーレス会議システムを導入します。
- 職員が場所にとらわれず働くことを可能とするテレワーク端末を整備します。

◆目的·効果

ICTを活用し、職員の負担軽減を図り、それによって生じた時間を窓口業務や創造的業務等付加価値の高い業務に充てることで、区民サービスの向上が期待できます。

◆事業概要

○ AI-OCR(人工知能を活用した帳票読み取りシステム)とRPAを活用した業務の一部自動化を順次導入していくとともに、会計事務の一部業務についてもRPAを導入します。

○ これらにより、職員の定型業務や単純作業にかける時間を削減し、区民サービス 向上のための業務にシフトすることが期待できます。

RPAによる 業務の自動化



ペーパーレス 会議システム

- 会議で使用する紙資料をデータに置き換え、タブレット端末を利用して簡単に会 議資料が共有できるペーパーレス会議システムを導入します。
- これにより、紙資源の削減、会議準備作業の合理化、会議の効率化を図ります。
- 東京2020大会における公共交通機関の混雑緩和に資するため、職員の在宅 勤務を可能とする環境を整備します。
- セキュリティ対策については、複数の技術を導入し、不正アクセスを防止します。

テレワーク端末 の整備



長期計画の該当項目:計画の実現に向けて(2) 効率的な区政運営と職員の育成

担当課:情報システム課窓 口:防災センター5階1番

電話:3647-9587 内線:6115・6116

V資料編

1 歳入・歳出の内訳

【一般会計(歳入・歳出)対前年度比較】

区分	令和 2 年度	令和元年度	増減額	増減率 (%)
歳入	2,132億9,800万円	2,054億 700万円	78 億 9, 100 万円	3.8
区税等(一般財源)	1,284億 300万円	1,304億7,000万円	△20 億 6,700 万円	△1.6
国・都支出金	561 億 8,000 万円	524億5,800万円	37億2,200万円	7. 1
繰 入 金	183 億 4,900 万円	118 億 3, 100 万円	65 億 1,800 万円	55. 1
特 別 区 債	11億4,400万円	6億7,600万円	4億6,800万円	69. 2
そ の 他	92億2,200万円	99億7,200万円	△7億5,000万円	△7.5
歳出	2,132億9,800万円	2,054億 700万円	78 億 9, 100 万円	3.8
人 件 費	318億9,300万円	286 億 9,700 万円	31 億 9,600 万円	11. 1
扶 助 費	724億3,800万円	693 億 5,300 万円	30億8,500万円	4.4
公 債 費	23 億 6,400 万円	24 億 9,600 万円	△1 億 3, 200 万円	△5.3
普通建設事業費	179億2,300万円	209 億 1,900 万円	△29 億 9,600 万円	△14. 3
積 立 金	69 億 9,800 万円	95 億 700 万円	△25 億 900 万円	△26. 4
物件費・補助費等	610 億 300 万円	561 億 6,800 万円	48 億 3,500 万円	8.6
そ の 他	206 億 7,900 万円	182 億 6,700 万円	24億1,200万円	13. 2

<歳入の特徴>

- ◇区税等(一般財源)は、対前年度比△1.6%の減。 (特別区交付金の減などによる)
- ◇国・都支出金は、対前年度比7.1%の増。 (保育施策関連負担金の増などによる)
- ◇繰入金は、対前年度比55.1%の増。 (財政調整基金の繰入金の増などによる)

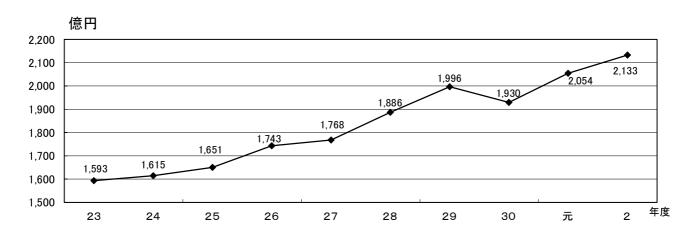
<歳出の特徴>

- ◇人件費は、対前年度比11.1%の増。 (会計年度任用職員制度移行に伴う増などによる)
- ◇普通建設事業費は、対前年度比△14.3%の減。 (香取小学校改築の皆減などによる)
- ◇積立金は、対前年度比△26.4%の減。 (防災基金積立金の減などによる)

2 各項目の推移

2-1 一般会計(予算規模)の推移

2年度 2,132 億 9,800 万円



◇一般会計の予算規模は、前年度比3.8%の増となった。

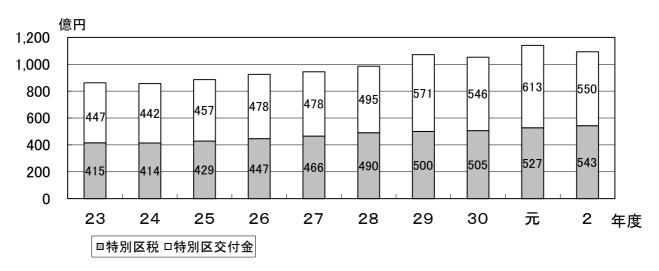
2-2 歳入(特別区税と特別区交付金)の推移

2年度 区 税 542 億 9,900 万円 交付金 549 億 9,900 万円

(単位:億円/当初予算ベース)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度
区税	415	414	429	447	466	490	500	505	527	543
交付金	447	442	457	478	478	495	571	546	613	550
合計	862	856	886	925	944	985	1,071	1,052	1, 140	1,093
構成比	54. 1	53. 0	53. 7	53.0	53. 4	52. 2	53. 7	54. 5	55. 5	51. 2

構成比=特別区税と特別区交付金の合計額が、歳入全体に占める割合(%)

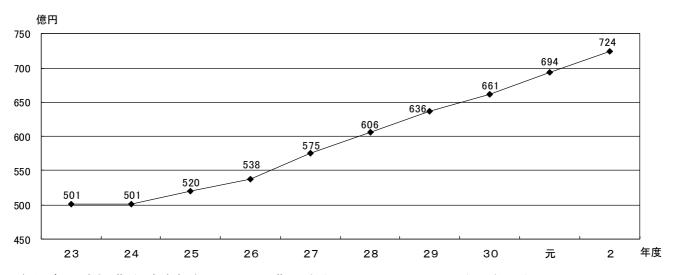


◇区の基幹的な歳入である特別区税と特別区交付金の合計額は、1,093億円。 特別区税は増となったものの特別区交付金が減となり、一般会計に占める構成比は 51.2%となった。

2-3 歳出の推移

(1)扶助費(生活保護費や児童福祉費など)

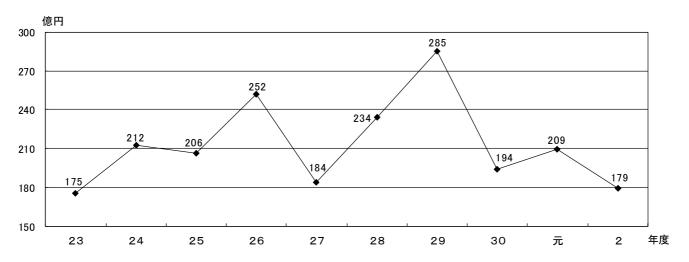
2年度 724 億 3,800 万円



◇保育関連経費や障害福祉サービス費の増などにより、4.4%の増となった。

(2)普通建設事業費

2年度 179 億 2,300 万円



◇普通建設事業費は、香取小学校改築や夢の島競技場改修の皆減などにより、△14.3%の減となった。

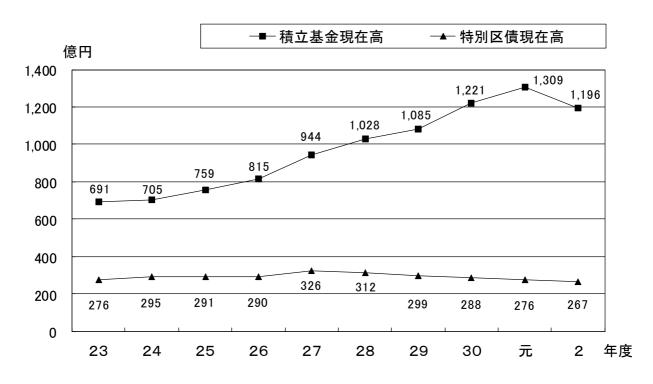
2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移

2年度末 積立基金 1,196 億 1,100 万円 特別区債 266 億 9,300 万円

(単位:億円)

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27年度	28 年度	29 年度	30年度	元年度	2年度
積立基金	691	705	759	815	944	1, 028	1, 085	1, 221	1, 309	1, 196
特別区債	276	295	291	290	326	312	299	288	276	267

- *平成23年度から平成30年度までの金額は、決算額。
- *令和元・2年度の金額は、年度末見込み額。
- *上記積立基金には、介護保険関連基金は含まれていない。



◇令和2年度は、年度間の財源調整を図るために財政調整基金80億円、公共施設の改修などに充てるために公共施設建設基金63億円、深川第四中学校の大規模改修工事などに充てるために学校施設改築等基金25億円など、183億円の基金を活用する。

3 歳出の抑制

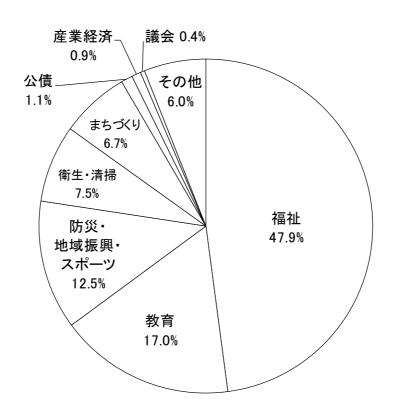
事業の見直し等による削減額 · · · · · · · · · · · · · · · · 9,100 万円

事	業の見直しもしくは廃止した事業	9,100万円
	小学校の用務の委託化	1,700万円
	中学校の用務の委託化	1,100万円
	小学校の警備の委託化	800万円
	区立幼稚園の用務の委託化	300万円
	その他の見直し及び廃止	5,200万円

4 区民一人あたりの令和2年度歳出予算額

【区民一人あたりの歳出予算額の内訳】

目的	費目	金額	構成比
高齢者や子育て支援など福祉施策に	民生費	195, 593 円	47. 9%
学校教育や図書館などに	教育費	69,536円	17.0%
防災対策や地域振興、スポーツ振興などに	総務費	51,148円	12.5%
健康診断や母子保健、環境・清掃事業に	衛生費	30, 489 円	7. 5%
道路・公園の整備やまちづくりに	土木費	27, 307 円	6. 7%
特別区債の償還に	公債費	4,436 円	1.1%
商工業や観光の振興、消費者保護などに	産業経済費	3,816円	0.9%
議会の運営のために	議会費	1,763 円	0.4%
その他	他会計への繰出金等	24,658 円	6.0%
合 計		408, 7	46円



【参考】*区民一人あたりの特別区民税:96,359円(令和2年度当初予算) *人口:521,835人(令和2年1月1日現在、住民基本台帳調)



令和2年2月4日 江東区 政策経営部 広報広聴課 報道係 03-3647-2363 (直通)